

# 父母教師会活動の充実に向けて



父母教師会  
会長 浦野 淳

本年度（平成十九年度）、父母教師会（PTA）会長を務めさせていただくことになりました。私がPTA活動に関わりを持つようになりましたのは、三人の娘が本校に入学し、お世話になったことにあります。PTA活動に関わる中で、様々な方と豊かな出会いを持たせていただき、特に永原元会長、北山前会長をはじめとする先輩役員の方々が熱心にPTA活動に打ち込む姿に接し、心を深く打たれました。私は、元、前会長さんに比べて浅学非才であります。PTA活動を通して、子供たちの健全育成と東鷹高校の発展に全力を尽くす所存です。

早朝の門立ち、挨拶運動に参加し、

子供たちの「おはようございます」という元気な笑顔、また街頭補導での「こんにちわ」という素直な態度に接し、心が清々しくなり、その日一日が元気に過ごせます。私は「元気な挨拶に明るい未来がある」と信じています。東鷹高校生の元気な挨拶に接する度に、子供たちに明るい未来を感じます。

ところでこの度教育基本法が改定されました。第十条で「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有する……」とされ、第十三条で「学校、家庭及び地域は……教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに相互の連携及び協力に努める」となっています。PTAは父母（保護者）と教師の会でありますが、それぞれが教育における役割と責任を自覚して、教師と保護者、保護者どうしの相互の連携及び協力のもとに、よりよき学校環境、教育環境を作っていく組織であると思います。この連携、協力があってはじめて、より質の高い教育が可能になると思います。

PTAが単なる行事消化のためだけであったり役員だけの親睦組織

であっては存在意義はないのではな  
いかと思います。私は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」をモットーにしています。役員とか役員でないということではなく会員相互が平等に責任を自覚し、PTA活動に関わっていただくことを願っています。そして、一人ひとりの責任あるご意見を活動の中に反映したPTA活動を実現したいと思っています。

子供たちが「品位、責任、底力」という校訓のもとに、東鷹高校の三年間、勉学とスポーツに打ち込み、地域に信頼される人として心身共に成長し、第一進路希望が達成できるよう、学校及び子供たちとの関わりを深めていきたいと思っています。

最後になりましたが、子供たちはやがて東鷹同窓会の会員になります。「母校の発展なくして同窓会の繁栄なし」の会是に賛同し、学校（子供達）を中心に同窓会の皆さんと力を合わせ、父母教師会活動の充実に全力を尽くすことをお誓いし、挨拶といたします。

## ◎ 役員ご紹介

副会長	鶴能 我盛 完
	能登原 真由美
	穂山 矢孝
	加治 貞尚
書記	宗 加 伸 繁
書会	

